

アオオサムシ



雑木林を歩いていると、道沿いや林の中に、小さな崖があります。このような場所では、多くの生きものが冬越ししています。

アオオサムシは地面を歩く甲虫の仲間で、ミミズなどに素早く噛みついて、食べてしまう肉食の昆虫です。普段はあまり目にすることはありませんが、冬に崖を掘ると、よく出てきます。この仲間は後ばねが退化して飛べないために、地域ごとに多くの種類に分かれています。アオオサムシは関東地方に分布しますが、北海道や近畿地方より西にはいないため、緑色に光る本種は西日本の昆虫好きには憧れの昆虫です。きれいな昆虫ですが、つまむとおしりから酸を飛ばすため、眼に入らないように注意が必要です。この酸にはタヌキやヒキガエルといった天敵を追い払う効果があると言われています。



アオオサムシ



冬越しする崖